

新冠の夏の風物詩

にいかつぷふるさと盆踊り

今年で7回目を迎え、すっかり新冠の夏の風物詩として定着した「にいかつぷふるさと盆踊り」(新冠町青年団体連絡会議主催)が8月15日、役場駐車場で開催されました。

毎年、来場者数は増え続け、今年は700名以上の方が会場に足を運びました。

会場では、子供たちに楽しんでもらえるように「子牛や子羊とのふれあいコーナー」や「ホースシューズ体験コーナー」、豪華景品があたる「お菓子まき」も行なわれ、子供たちも大喜びでした。



また、盆踊りでは、青年団体連絡会議のメンバーが町内の踊りのサークル「春寿会」の皆さんから手ほどきを受けた盆踊りを踊って会場を盛り上げ、来場者を楽しませてくれました。

安らかに眠りください

新冠町戦没者慰霊祭

8月20日、本町多目的交流センターで新冠町戦没者慰霊祭(新冠町遺族会主催)が行なわれ、遺族の方々をはじめ、50名の方々が出席しました。

慰霊祭では、小野巖新冠町遺族会会長が「若い世代に戦争の悲惨さを語り継いでいくことが私たちの役目です。体力と気力が続く限り忠魂碑を守っていきます。」と式辞を述べ、参加者一人ずつ献花を行い、戦没者の霊を慰めました。



また、盆踊りでは、青年団体連絡会議のメンバーが町内の踊りのサークル「春寿会」の皆さんから手ほどきを受けた盆踊りを踊って会場を盛り上げ、来場者を楽しませてくれました。

題

あれこれ

NHK公開番組

とことん！ふるさとステージ公開収録

8月9日、レ・コード館で、NHK公開番組「とことん！ふるさとステージ〜新冠町〜」の公開収録が行なわれ、入場整理券の抽選に当選した450名の方が来場し、公開収録に参加しました。

収録では、ゲストの演歌歌手の山川豊さん、藤あや子さんが持ち歌を披露しながら登場し、華やいだステージとなりました。

また、ふるさと新冠を紹介するコーナーでは、にいかつぷピーマンの紹介や、ピーマン料理コンテストで最優秀賞を受賞した「日高二代名産和え」を試食していただき、にいかつぷピーマンをPRしました。



さらに、レ・コード館の紹介や大狩部在住の高瀬ご夫妻が出演し、ご夫妻のレコードにまつわるエピソードなどが紹介され、会場も多いに盛り上がりました。

この収録の放送は9月4日にNHK総合テレビで全道に放送されました。

リレーで421周を完走 「北海道マラソンに挑戦」開催

8月30日、町民グラウンドで「北海道マラソンに挑戦」が開催され、小中学生を中心に90名が参加しました。

昨年、町体育協会創立50周年記念事業として初めて行なわれたこの事業。今年は町教育員会主催で行なわれ、1周100mのトラックをリレー方式でつなぎ、北海道マラソン出場選手と競い合いました。

あいにくこの日は、衆議院議員総選挙の投票日と重なったため、昨年より少ない参加者での挑戦となりましたが、正午過ぎの北海道マラソンのスタートと同時に町民グラウンドでも第1走者がスタートし、



1周100メートルのトラックを421周しました。記録は2時間9分42秒で、北海道マラソンを優勝したダニエル・ジェンガ選手のタイムを上回り、アンカーの辻本教育長がゴールしたときは、参加者全員で喜びを分かち合いました。

ま ち の 話

晴天の下で昆布干し

今年初めての昆布漁

9月3日、秋晴れになったこの日、今年初めての日高昆布漁が行なわれ、1年ぶりに節婦の昆布干場も賑わいを見せました。

昆布漁の解禁日は7月21日からでしたが、今年は、7、8月と天候不順が続き、9月になってようやく昆布漁の初日を迎えることができました。



この日は、昆布漁初日とあって、次々と干場に昆布が運ばれ、丘まわりの人たちも手際よく昆布を干していました。

初めてのカナー体験

新冠町女性コミュニティ会議

8月18日、新冠町女性コミュニティ会議（佐々木喜美子会長）主催のカナー体験教室が青年の家前の新冠川で行われ、15名の皆さんが参加しました。

参加した皆さんは、ほとんどの方がカナーに乗るのが初めての方ばかりで、乗り方の指導・説明を受けた後も不安と緊張でいっぱいだったそうです。

今回、カナー体験教室で乗ったのは、一人乗りのカヤックと二人乗りのカナディアンカナー。

岸辺からカナーに乗る瞬間は、緊張のピークだった参加者の皆さんも、川面に漕ぎ出すとすぐに慣れ、何度もカナーに乗るなど、すっかりカナーの魅力にはまった様子でした。



また、カナー体験終了後には、軽食をとりながら、参加者の皆さん同士で交流を図りました。きつと、参加者の皆さんも川面から見える新冠の風景を心ゆくまで楽しめたのではないのでしょうか。